

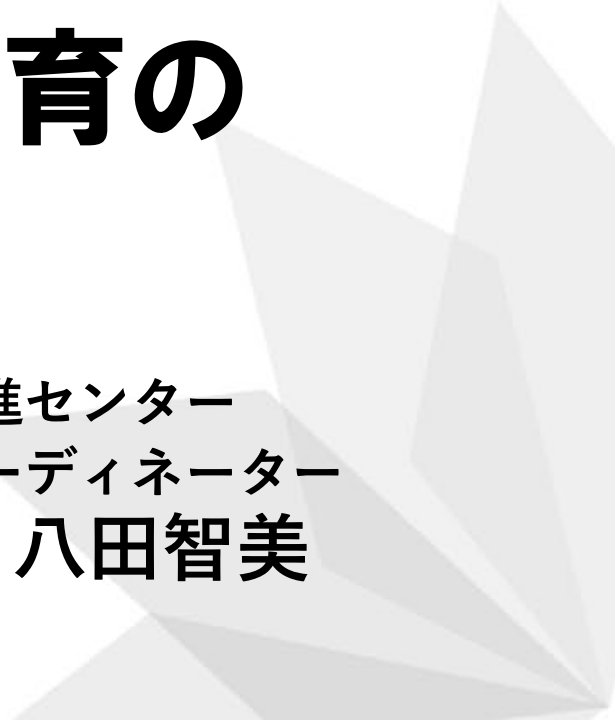


シンポジウム



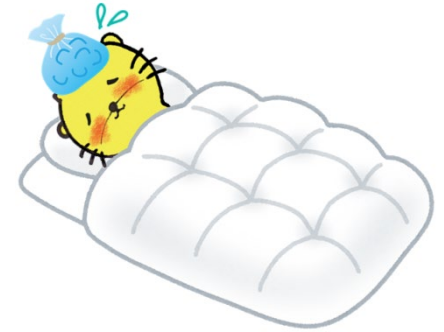
「訪問型」病児・病後児保育の 実施に向けて

ダイバーシティ推進センター
ダイバーシティコーディネーター
上山 沢子・八田智美



医学部・附属病院をもたない
「訪問型」病児・病後児保育支援システム

ならっこ病児モデル



「ならっこネット」による
通常の託児支援の延長線上の
訪問型 病児・病後児保育支援

ならっこ病児モデル

訪問型 病児・病後児保育システム

➤ 安心
➤ 安全
➤ 信頼



➤ 安心

- 健康時の託児支援を行っている経験豊かな**専属サポーター**に**限定**
- 通常託児支援講習(12h)の上に 病児・病後児保育講習(10h)の受講者 フォローアップ講座も予定



支援知識の向上と支援のスキルアップ

➤ 安全

- **かかりつけ医と保護者とサポーターとの連携**
- 「キャンナス生駒」代表・**看護師の緊急時の電話対応**
- 本部スタッフによる **時間外の電話対応と駆けつけ**



医療者との情報共有と緊急時対応の強化

※ 「キャンナス」とは

“デキル（Can）ことをデキル範囲で行うナース（Nurse）”の意味で、地域に住んでいる看護師が看護や介護のお手伝いをする、全国訪問ボランティアナースの会

➤ 信頼

- 自宅 ⇒ 子どもが **慣れた環境** での保育
- 保護者に代わる **家族のようなサポーター**
⇒ **信頼関係のもとでの 1:1** での保育



子どもが病気の時にも よりよく生きることを助け
成長の過程に寄り添う

保護者の就労支援



子どもの発育支援

ならっこ病児モデル

行政と医師会との連携

奈良女子大学
ダイバーシティ推進センター

システム構築
理解と協力

奈良市
子ども未来部

奈良市ファミリー・
サポート・センター

WG

【医療アドバイザー】

- ・西原 信先生 小児科医
(すくすくこどもクリニック/きらきら
保育園 院長)
- ・安原 忍先生 看護師/保育士
(全国ボランティアナースの会
キャンナス生駒代表)
- ・新谷まさこ先生 看護師/保育士
(子育てと仕事.com代表)

【ダイバーシティ推進センター】

- ・実施責任者
- ・ダイバーシティコーディネーター

システム構築
推進の了承

奈良市医師会
小児科医連絡協議会

かかりつけ医

「診療情報提供書」の発行

システム構築にあたって

WGでの検討課題

1. 受け入れ基準の明確化
2. 事前受診(付き添い受診)
3. 投薬の問題

1.受け入れ基準の明確化

病後児保育

- 病気の回復期
- 感染期間を過ぎている

預かり対象

- 1歳～小学6年生
- マンツーマンで

預かり時間

- 9：00－17：30（小児科医の診療時間内）
- 平日のみ
- Max 6時間

病後児保育 症状の基準

預かり可能な
症状・状態

- 医療機関の事前受診が済んでおり、医師により病後児（軽度病児）保育の利用が可能と判断された場合。
- 体温が**37.5度以下**である場合。
- 風邪など、子どもが日常的にかかる**病気の回復期**である場合。
- 感染性の疾患で、**回復期で感染期間を過ぎて**おり、感染の心配はないが登園、登校を控える場合。

病後児保育 症状の基準

預かり不可能
な
症状・状態

- ・ 喘息や咳がひどく、息苦しそうな場合。
- ・ 嘔吐、下痢などの症状がある場合。
- ・ 食事や水分がとれていない場合。
- ・ 微熱であっても元気がなく、ぐったりしている場合。
- ・ インフルエンザ・はしか・おたふく風邪などの**感染性疾患の急性期～感染期**である場合。
- ・ 新型の感染性疾患の場合。
- ・ 前日に解熱剤・抗けいれん剤・吐き気止め・下痢止めを服用の場合、アレルギー（エピペンが必要）の場合、**頓服が必要**となる場合。

病児保育 症状の基準

預かり可能な
症状・状態

- ・ 医療機関の事前受診が済んでおり、医師により病児・病後児保育の利用が可能と判断された場合。
- ・ 体温が38度以下である場合。
- ・ 風邪など、子どもが日常的にかかる病気で症状が重篤でない場合。
- ・ 感染性の疾患で、急性期は過ぎているが、登園・登校許可が出ない場合、または登校・登園を控える場合。

病児保育 症状の基準

預かり不可能
な
症状・状態

- 喘息や咳がひどく、息苦しそうな場合。
- 嘔吐、下痢などの症状が**重い**場合。
- 食事や水分がとれていない場合。
- 微熱であっても元気がなく、**ぐったり**している場合。
- インフルエンザ・はしか・おたふく風邪などの**感染性疾患の急性期**である場合。
- **新型の感染性疾患**の場合。

2. 事前受診(付き添い受診)



病児・病後児保育システム利用時は 前日or当日 事前受診が必要です！

保護者による受診

保護者(子ども)がかかりつけ医に受診

付き添い受診

保護者(子ども)に**専属サポーター**が**付き添う**形でかかりつけ医に受診

メリット：かかりつけ医と保護者と託児支援者が面会
医師からの情報を保護者とともにサポーターが共有

情報共有→連携

医師—保護者—サポーター

3.投薬の問題



前提として

- ① 「薬の知識」「投薬する時の心得」に関する講習を実施
- ② 受診時の医師と保護者とサポーターとの情報共有（子どもの体調・ケア・服薬）を正確に
- ③ もしもの場合、即時に適切な対応・連絡がとれて事故を未然に防ぐ

正しい知識

情報共有

連携

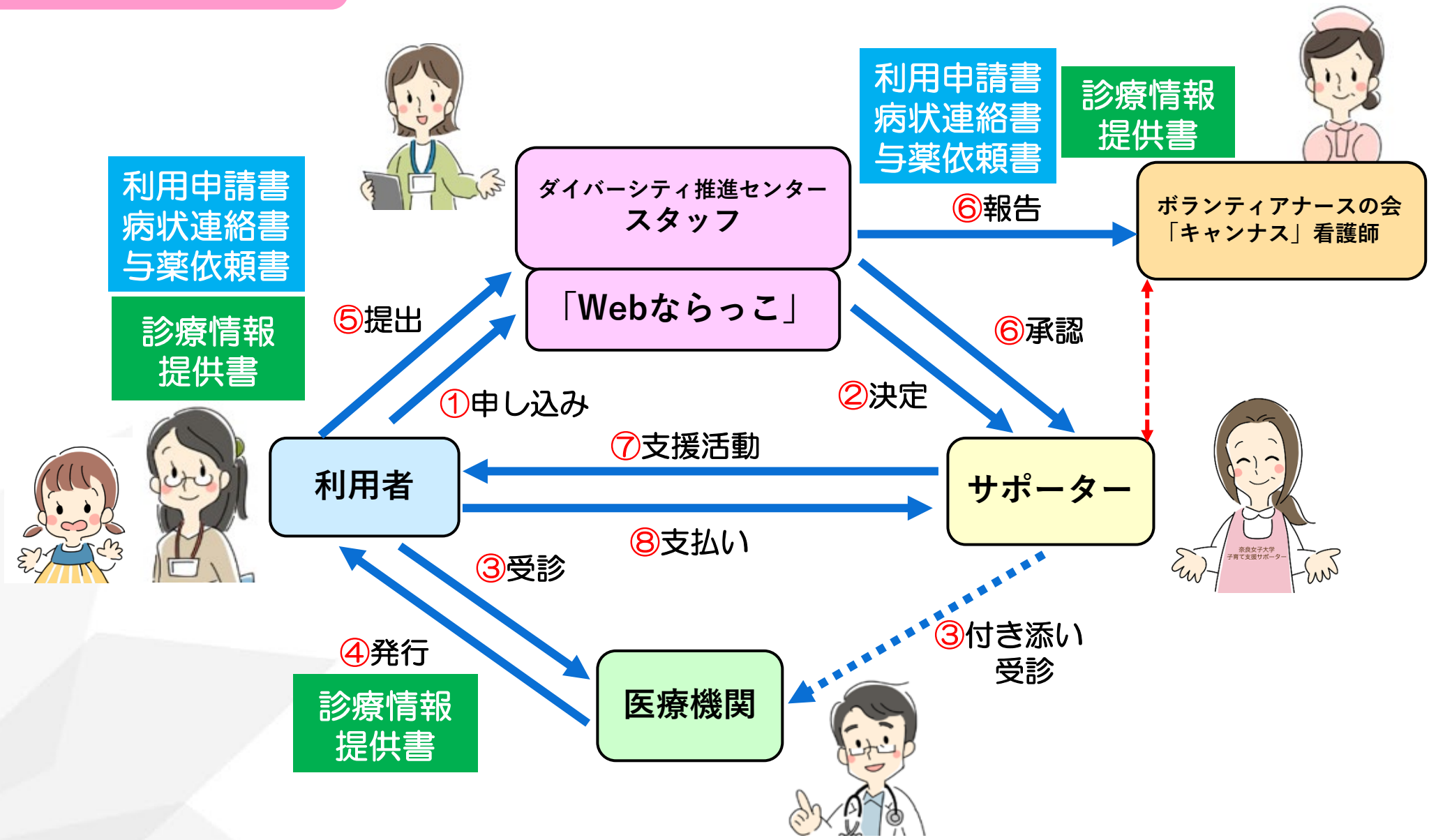
「与薬依頼書」

利用者 → サポーター（確認チェック）

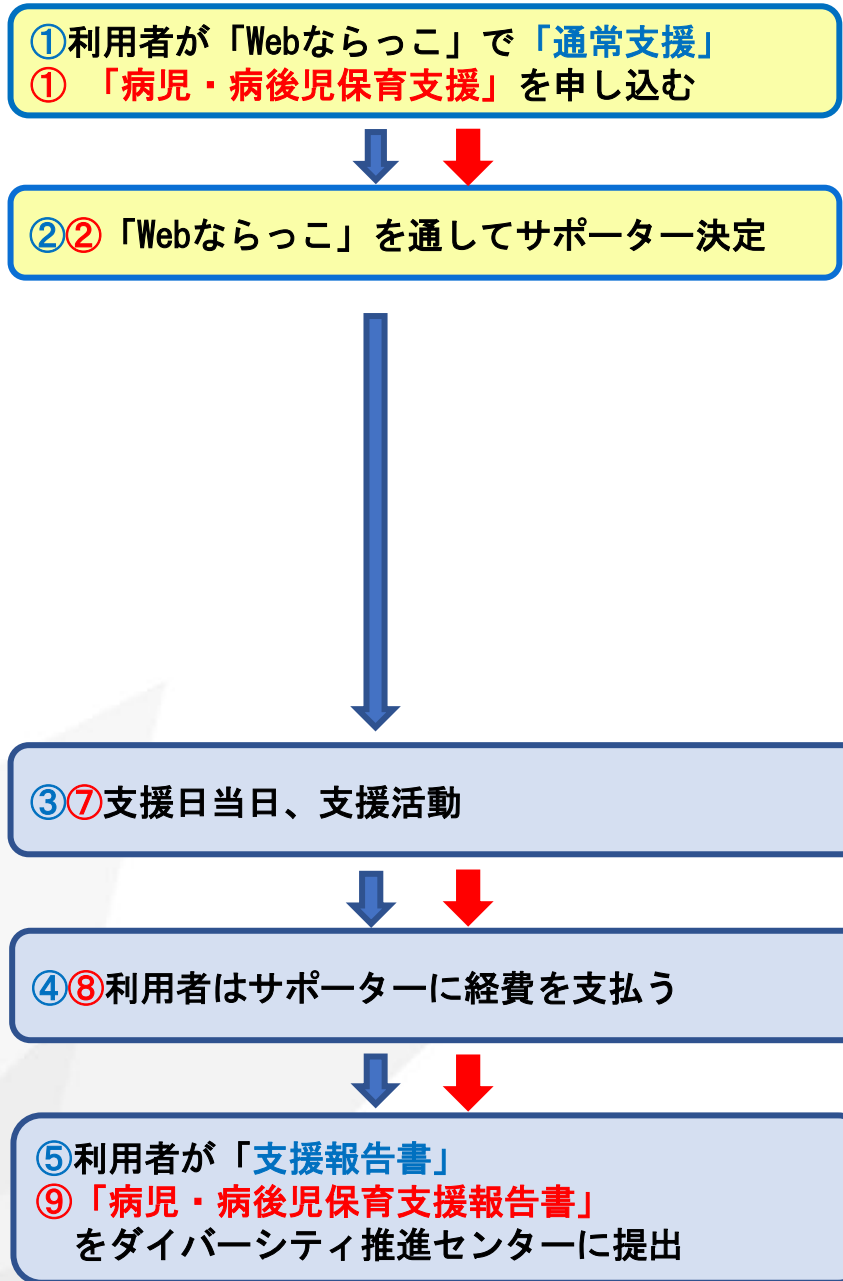
「**医師の指示に基づき** 保護者に代わって与薬をお願いします」

- (1) 薬の保管 (2) 薬の剤型 (3) 薬の内容 (4) 服用する時間の記載に従って行う

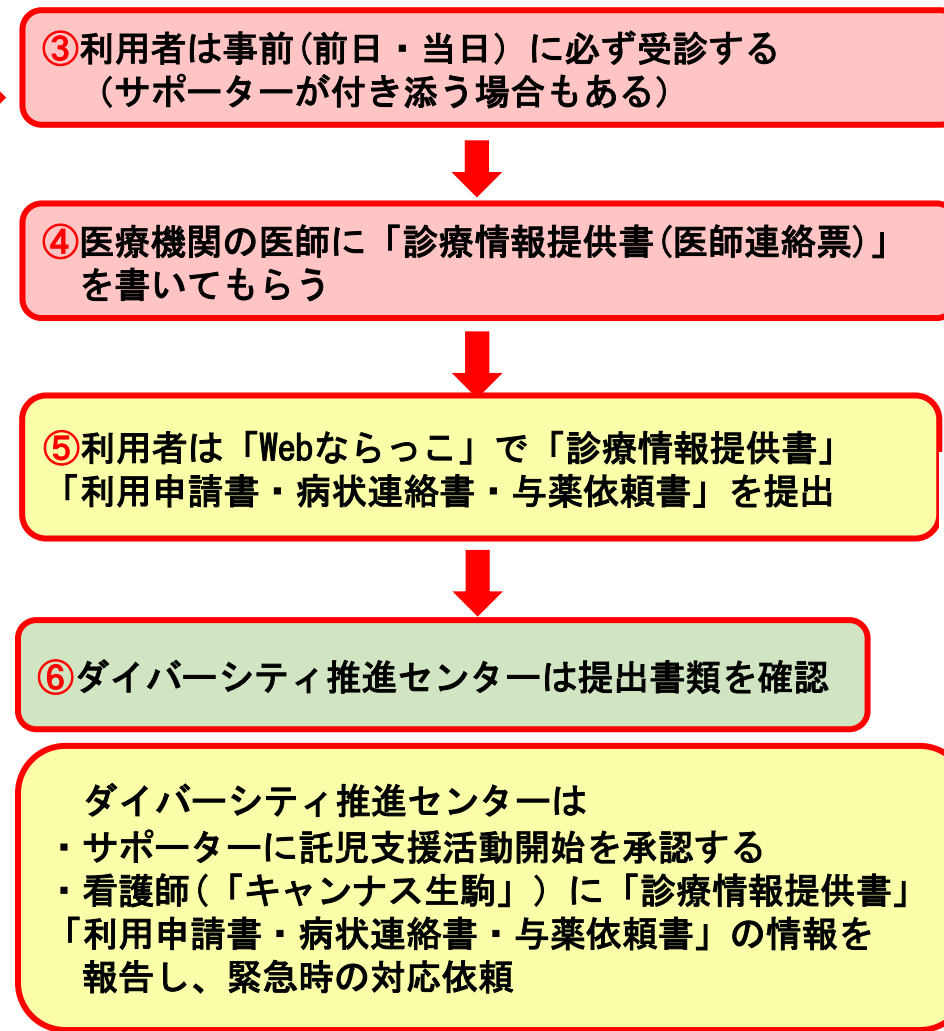
託児支援の流れ







通常支援の流れ



病児・病後児保育支援の流れ



- | | |
|---|---|
|  Web上で進む手順 |  病児・病後児保育の手順 |
|  通常支援・病児病後児支援
共通の手順 |  推進センタースタッフの確認 |

リスクマネジメント

1

サポーター講習・サポーターの健康管理

～サポーターさんが安心して病児・病後児保育ができるように～

2

看護師による電話での即時対応

支援中のサポーターからの相談に対応

3

医師と保護者とサポーターの連絡ノート

子どもの病状について医師・保護者・サポーターによる情報共有

4

症状別対応マニュアル、支援中の対応Q&A集

サポーターの声から支援中の判断基準の明確化

5

保険

支援中の万が一の事故への備え

1. サポーター講習

1. サポーターの健康管理

病児・病後児保育支援サポーターへの登録には

- ・通常託児支援のための講習 12時間
 - ・病児・病後児保育支援のための講習 10時間
- 計22時間（+病児保育施設見学）の受講を必須とする

～サポーターが安心して病児・病後児保育ができるように～

「サポーター勉強会」「病児・病後児保育についてのアンケート」から
サポーターの不安を抽出

- ・病状が急変した時の対応
- ・病気や看護についての知識や経験の不足
- ・薬の飲ませ方
- ・育児方法や情報の変化



- ・WGでの検討
- ・担当講師との打ち合わせ

サポーター講習の内容に反映

講座項目	内容	担当者	時間
1. オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・通常託児支援について (支援概要・流れ・心構え・訪問型支援についての心得など) 	コーディネーター	60分
2. 保育の心	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の意義と役割について ・育児支援者としての心構えと親子との関わり方 ・活動中に注意すること 	幼稚園教諭	60分
3. 子どもの発達と関わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に応じた心理・社会的発達、知的発達、対人関係の発達、自己・自我の発達などを理解する ・子どもの発達段階ごとの保育者の関わり方について 	臨床心理士/公認心理師 (奈良女子大学准教授)	90分
4. 子どもの世話・食事	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの身体の特徴 ・乳児・幼児の生活 ・子どもが快適に過ごすために必要なケアと環境について ・最近の育児について ・食事を与える際の注意事項 (大きさ、温度、ベビーフードの取り扱いなど) 	看護師/保育士	180分
5. 発達と体調に応じた 子どもの遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に応じた遊び ・体調に応じた遊び <p style="text-align: right;">ワークショップ形式</p>	病児保育施設保育士	90分
6. 子どもの事故と安全	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもによくある事故の特徴や原因について ・活動中の事故を防止するための具体的な方法 ・ケガの手当 ・午睡時の安全 ・ヒヤリ・ハットの事例研究 	小児科医	120分
7. 緊急時の対応と応急措置	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した場合の対応方法(応急処置、連絡体制など) ・一次救命実習 (心肺蘇生法・AEDの使用法・誤飲時の異物除去法) <p style="text-align: right;">ワークショップ形式</p>	赤十字幼児安全法指導員	120分

「訪問型」病児・病後児保育支援のための講習 10時間

講座項目	内容	担当者	時間
1. オリエンテーション	病児・病後児保育について (支援概要・流れ・心構えなど)	コーディネーター	60分
2. 訪問型支援の心得	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡(病院との連携) ・支援者自身の健康管理 (感染防止・感染源とならないために) 	看護師/保育士	120分
3. 子どもの病気と対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康状態の観察方法(危険な症状) ・感染性疾患への対応 ・アレルギーについて ・症状が急変した場合の対応について 	小児科医	180分
4. 病児の看病	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがかかる疾患の主な症状と必要な看護方法について ・病気の時の子どもの心理 ・病気の時の環境調整(物理的・人的) ・嘔吐処理手順 ・熱性けいれんの観察と記録 	看護師/保育士	180分
5. 薬に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの薬について ・薬の与え方 	薬剤師	60分
6. 病児・病後児保育施設見学	・病児・病後児保育施設見学		

ならっこ病児モデル



	「訪問型」病児・病後児保育 支援のための講習		通常託児支援のための 講習	
	第1回 (10/30)	第2回 (11/21)	第1回 (1/13)	第2回 (2/6)
会場	12名	10名	9名	14名
オンデマンド	11名	12名	17名 (予定)	13名 (予定)



サポーターの健康管理

- ・罹患歴のチェック、予防接種の励行
- ・感染症対策に関する講習の受講

2. 看護師による電話での即時対応

支援中のサポーターからの相談に対応

「キャンナス生駒」の看護師との連携

託児支援中、子どもの病状のことやケアの方法、病気の急変などの場合に、電話相談に即時対応が得られるよう「全国ボランティアナースの会 キャンナス生駒」看護師と連携

- ・ 緊急時のサポート
- ・ いつでも相談できる安心感



サポーターの病児・病後児保育への精神的負担の軽減



3. 医師と保護者とサポーターの 連絡ノート

年 月 日 ()

【保護者記入】

○ 受診時に医師から聞いた内容

医師からの説明：

医師からの指示：

次回の受診の指示：

サポーター
サイン

サポーターへの引継ぎ事項

今朝の自宅での様子：

託児中の過ごし方：

気をつけてほしいこと：

保護者の帰宅時間：()時()分頃
誰()

サポーター
サイン

サポーター氏名 ()

【サポーター記入】

○ 準備できているかを確認して □にチェックを入れる

- 薬 食事・ミルク 飲み物 体温計 アイシング
- 着替え・オムツ タオル・バスタオル ビニール袋(大・小)
- 受診グッズ(家の鍵・保険証・乳幼児医療証・母子手帳・診察券)
- 書類(「診療情報提供書」「利用申請書・病状連絡書・与薬依頼書」
「医師と保護者とサポーターの連絡ノート」
「ならっこネット 病児・病後児保育支援報告書」)

○ 保護者への連絡事項

本日の託児

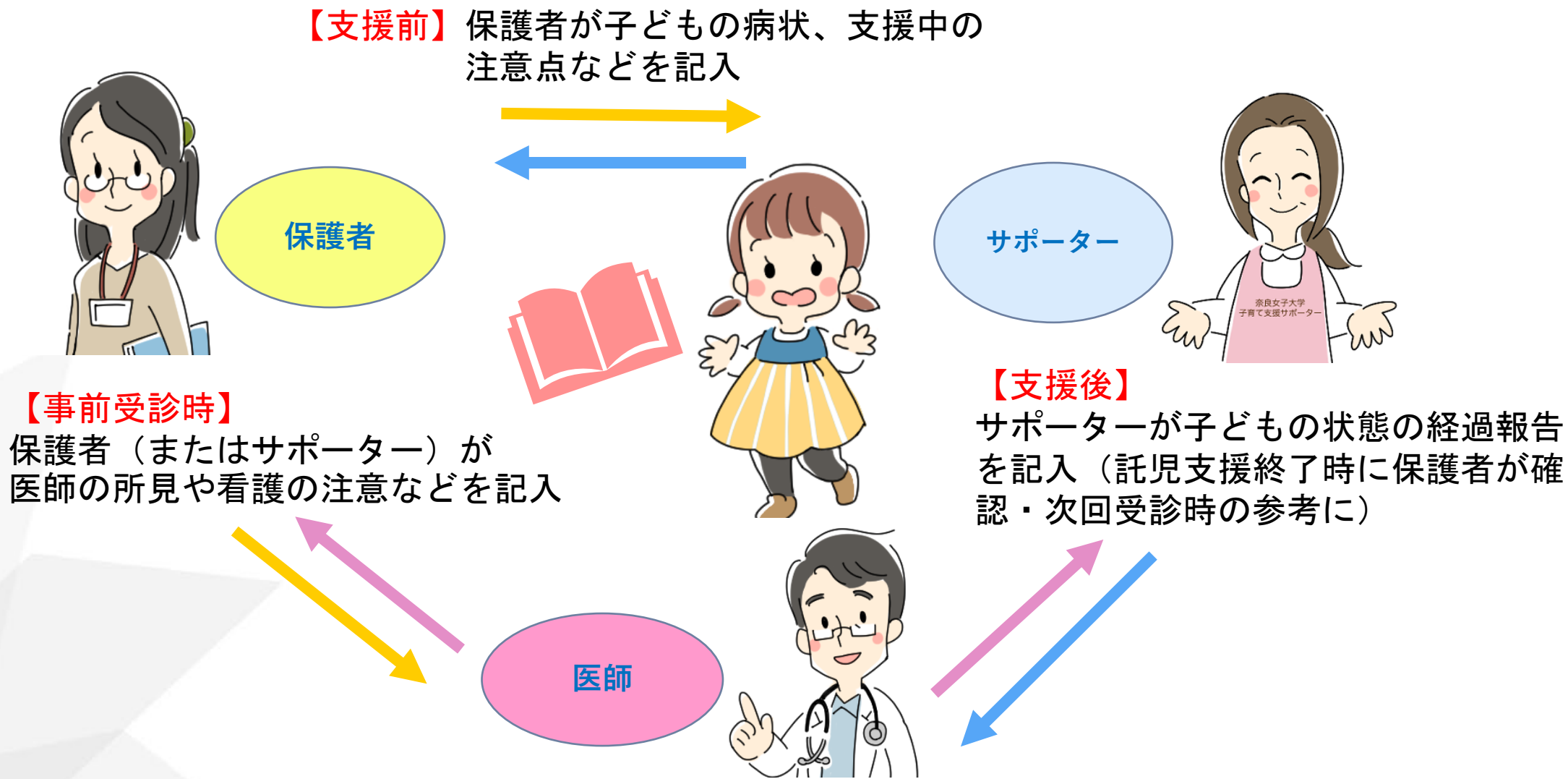
薬	なし・服薬済み・服薬できず()
食事・ミルク	完食・残す()
水分	飲んでいる・あまり飲めていない・飲めていない
排泄	普通便・軟便・下痢便()回
体温	託児最終時()℃()時()分)

一日の様子・連絡事項

保護者
サイン

3. 医師と保護者とサポーターの連絡ノート

子どもの病状について医師・保護者・サポーターによる情報共有



4. 症状別対応マニュアル 支援中の対応Q&A集

サポーターの声から支援中の対応方法を明確化

サポーターの声

サポーター講習会での質問・意見・受講の記録より抽出

子どもを看ながら嘔吐処理をするのは大変。どこまでの処理を行うか基準を決めてほしい。

熱性けいれんの時、慌ててしまうのではと不安です。

支援中に熱が上がってきたらどうする？

子どもが嘔吐した時、必要な用具は誰が用意するの？

対策

嘔吐処理・熱性けいれん・下痢などの「症状別対応マニュアル」を作成

「支援中の対応Q&A集」を作成

手袋・マスク・エプロンの「清潔セット」の配布

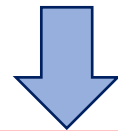
5. 保険

支援中の万が一の事故に備えて

	サポーター 傷害保険	子ども 傷害保険	賠償責任保険
死亡	500万円	1,000万円	活動中に担当サポーターが監督・管理中の不備により第三者の身体または財物を損傷破損させた場合 限度額 1億円(免責無し) 示談代行サービスなし
後遺障害	死亡保険金の 3%～100%	死亡保険金の 3%～100%	
入院日額	3,000円	2,000円	
通院日額	2,000円	1,000円	

「訪問型」病児・病後児保育システム構築 これまでの成果

- ✓ 自治体、医師会、看護師団体との連携・協力体制の構築
- ✓ 研究機関と医療関係者の間での相互理解
- ✓ 病児・病後児保育がめざすものを明確化
- ✓ 「ならっこネット」を基盤とした
「訪問型」病児・病後児保育手順等の明確化
- ✓ リスク管理上の課題・方法について検討、実施体制の整備



2021年4月より

病後児保育支援の開始

今後に向けて

支援地域の拡大

- ・ 医療機関との連携を拡大
- ・ 奈良市以外の地域在住の利用者にも対応

支援内容の拡充

- ・ 利用者のニーズに細やかに対応
- ・ 安全面の更なる整備

病児保育の実現

- ・ 病後児保育支援の蓄積と検証
- ・ 病後児保育の基盤を固め病児保育へ

学内・他機関との連携

- ・ 積極的な情報発信
- ・ 「ならっこ病児モデル」の他機関への普及

謝 辞

(順不同)

☆一般財団法人 女性労働協会 (第一事業部 小林恭子部長・平野志織係長)

☆奈良市子ども未来部 子ども育成課 子ども未来部
(鈴木千恵美部長・小澤美砂次長・池田有希課長・湯口誠也係長)

☆奈良市医師会
(理事 南部光彦医師・副会長 岩佐隆太郎医師・事務次長 高松慶生様)

☆奈良市小児科医連絡協議会 (奈良市 小児科医師 開業医・勤務医の先生方)

☆すくすくこどもクリニック/きらきら保育園 (院長 小児科医 西原 信様)

☆全国ボランティアアナーサスの会 キャンナス生駒 (代表 安原 忍様・副代表 尾山章子様)

☆子育てと仕事.com (代表 新谷まさこ様)

謝 辞

- ☆堺市訪問型病児保育センター（所長 奥村仁美様）
- ☆特定非営利活動法人 ゆりかごネットワーク（理事 須賀一繼様）
- ☆特定非営利活動法人
子育てサポートおうみはちまんすくすく（前事務局長 小西正樹様）
- ☆NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ（理事長 小俣みどり様）
- ☆NPO法人フローレンス（病児保育事業部 マネージャー 三枝美穂様）
- ☆社会医療法人 松本快生会 訪問看護ステーション「なでしこ」（所長 志茂友紀子様）
- ☆東京女子医大・東京医大（ファミリーサポート室 村田律子様）

謝 辞

- ☆京都大学（病児保育室病児保育主査 小児科医 横山淳史様
男女共同参画推進センター 岡田智恵美様・中間亜紀様）
- ☆大阪大学（企画部 男女協働推進課男女協働支援係 三井康彰様）
- ☆すくすくこどもクリニック/きらきら保育園（保育士 小島美和様）
- ☆キタバ薬局 国分本町店（薬局長 森本二郎様）

大変お世話になりました
ありがとうございました